

△ミニ知識▽

糖尿病

早期発見早期治療

わが国には約百万人の糖尿病患者がいる。とくに四十歳以上の男子は、二十人に一人が重症、軽症を含めて糖尿病といわれている。糖尿病は、初期の段階では自覚症状なし、しかし、次のような症状が出はじめたらいわば「危険信号」である。

- ①のどが乾き、やたらに水を飲む
- ②尿の回数と量が多くなる
- ③異常なほどの空腹感や甘いものをほしがる
- ④ダルさ、疲れ、冷汗、どうき、目まいなどが起こることもある
- ⑤視力がよわってくる

広報

ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

十七戦十七勝(十KO)

プロボクシング・全日本ミドル級チャンピオンの工藤政志選手は十七戦十七勝の快進撃を続けているが、十二月から来年の二月頃を目途に、世界ジュニアミドル級チャンピオン、エディ・ガソ(ニカラグア)に挑戦するため、ただ今森山企画が中心となってガソ側と交渉をしている。工藤選手は、五城目町出身で、五城目高等学校の卒業生でもある。中学校時代は野球部に籍をおき、高校時代はレスリング部員でインターハイ個人、団体とも三位、東北大会では個人優勝を果している。その後、自衛隊体育学校朝霞に在学当時は、レスリング関東大会で優勝するなど、輝かしい成績を納めている。

ボクシング界にデビューしたのは昭和四十七年五月で、初戦三回KO勝ちから五十二年九月ピーター・南木のKO勝ちまで連勝街道をひたすら進み続けているのである。

世界チャンピオンたどる

日本の世界チャンピオンは、フライ級の具志堅選手ただ一人であるが、かつて五人の世界チャンピオンをかかえていた日本のボクシング界にとっては、工藤選手に起死回生の望みをたくしており、チャンピオンの指定席に最短距離にいるホープとして期待されている。

工藤(田町出身)選手

エディ・ガソ 世界ジュニアミドル級チャンピオンに挑戦実現か

工藤選手には今回が唯一のチャンスであり、ボクシング界にとっても、最後の切札と言われている。是非チャレンジ試合が実現し本町出身の世界チャンピオンの誕生を期待したい。

町内の有志は、この機会に後援会を作り、郷土出身のチャンピオンを支援しようと、今その組織作りがすすまれている。

希望の方は次の電話に連絡すれば詳しい内容がわかる。
連絡所 五城目TEL二二五八 東京〇三(二三〇)四八七一



(広報紙中にある写真を欲しい方にはおあげします)

世界チャンピオンに挑戦できるか工藤選手

△広報サロン▽

ありがたい

郷土の仲間たち



上樋口 鳥井 森 鈴

十月二十九日、私にとって生涯の感激を総身に味った日である。それは、小生が六十年間歩いて来た記録を、一冊の本にまとめて刊行されたからである。私がただ、つれづれに綴ってきた資料を提供しただけで、あとは老人の仲間たちが見事にやってくれたのである。印刷所の主も金のためにはつきりしないものを二つ返事で引受けてくれ、積極的に編集を担当してくれた。時々その進行ぶりを拝見に行くと、そのおくさんも、息子さんとも一生懸命だ。商売だからと言えどもそれまでだが、その心意気が嬉しかった。

いよいよ発刊記念の日が来た。鶴ノ木映画館を借り会場にしたが果してこの多くさんの席を埋めるほど人が集ってくれるだろうか、それが一番心配であった。ところが開会一時間ほど前から人の列が続き、はどなくして満席となった。私は嬉しかった、涙の出る程嬉しかった。

祝辞を述べてくれる方々も私を祝い励まし、昔のエピソードを何の遠慮もなく語ってくれ、笑いと拍手の渦を大きくしてくれた。

この町の民謡同好会もいよいよ盛んになっているので、是非「ふるさとの唄」を刊行したい望みを持っていたが、こんな形で出版出来るとは夢にも思っていなかった。

町功労者に

斉藤・加藤・伊藤の三氏

十一月三日 広域体育館で表彰式典

十一月三日午前十時から、広域体育館第二、三体育室において、昭和五十二年度町功労者などの表彰式典が行われる。

今年度の町功労者は、住民福祉の向上に長年尽くされた斉藤周作氏、教育の振興と町の伝統文化保存育成に貢献してきた加藤裕氏、そして町の森林資源の保護育成と自治発展に長年尽くされた伊藤真一郎氏の三氏が、町功労者諮問委員会の諮問を得て表彰されることになった。

当日式典の席上、優良納税組合国保無傷病世帯、献血功労者、また交通指導員として功労のあった方々も表彰される。

町功労者の経歴と表彰される方の氏名は、次のとおりである。

町功労者

教育の振興と福祉の向上

斉藤 周作



明治36年3月27生(74歳)

現住所 五城目町馬場目字門前30
大正11年3月 秋田農業学校卒業



加藤 裕

明治37年7月16日生(73歳)

現住所 五城目町大川石崎

昭和4年3月国学院大学高等師範部を卒業、昭和二十二年十月から三十五年三月まで十三年間五城目高等学校長として地域の教育振興に尽くされたほか、昭和四十七年四月から現在まで五城目町文化財保護に尽くされた功績は大きい。

自治の進展

伊藤 真一郎

明治39年7月15日生(71歳)

大正13年3月 鷹巣農林学校卒業
現住所 五城目町富津内中津又字住吉22

昭和二年一月から二十二年二月まで富津内村役場吏員。昭和三十三年から四十年九月まで五城目森林組合吏員として自治の進展と林業の振興に尽くされたほか、昭和三十三年三月から三十九年三月まで、町教育委員、同委員長昭和三十九年三月から四十年三月まで町議会議員、昭和四十年三月から五十年九月まで選挙管理委員会、同委員長などを歴任され、地方自治の進展に大きく貢献された。



教育の振興と文化の進展

納税功労者(個人)

多年にわたって、納税貯蓄組合長として組合員の指導にあたり、納税思想の普及と納税意欲の向上につとめ、その功績はきわめて大きい。

小玉 正義

(西野第二納税貯蓄組合長)

工藤 貞蔵

(鶴ノ木納税貯蓄組合長)

石川 慎一

(杉沢納税貯蓄組合長)

北嶋 倉治

(大川大川納税貯蓄組合長)

佐藤 寅治

(谷地中第一納税貯蓄組合長)

①組合員数二十人以上の組合のうち、連続納税期十年以上完納した組合において、組合長または

役員の職を五年以上つとめ、納税に功労があった者

②その他納税に特に功労のあった者

優良納税団体

組合設立以来、納税期納付連続完納を多年にわたり継続し、町財政に寄与するところが大きく他の模範である。

富津内、落合納税貯蓄組合
寺庭納税貯蓄組合
上山内納税貯蓄組合
御蔵町納税貯蓄組合

優良納税貯蓄組合選考基準

①町内または部落全世帯加入の組合で連続納税期完納二十年もしくは十年の組合

②組合員数二十人以上の組合で連続納税期完納二十年もしくは十年の組合

国保無傷病世帯

国保加入世帯で、連続二年以上国保の医療給付を受けなかった模範的な健康優良世帯である。

渡辺松之助(四年連続)上町
宮城 石夫()蓬内台
工藤 順治(三年連続)下樋口
伊藤石五郎()御蔵下
秋山 三男(二年連続)古川町
竹内栄三郎()紀久栄町
田村 国年()矢場崎
武谷武之助()仲町
高泉 嘉光()畑町
一関 久()久保
石川修太郎()岩城町
石井 運蔵()門前
石井 兼蔵()寺庭
越高 堅蔵()水沢
越高 善吉()水沢

国民健康保険表彰選考基準

①被保険者二人以上の世帯で連続二年以上療養給付費の支給を受けないで国民健康保険税を年度内完納した者

②その他、特に国民健康保険事業に功労のあった者

献血功労

献血の重要性を認識され、二十回以上率先して献血したその博愛の精神は他の模範である。

伊藤 嘉孝(21回)築地町
沢田 栄一(20回)湯ノ又
石井 光雅(20回)寺庭
献血表彰選考基準

①人命尊重の趣旨をよく理解し、二十回以上の献血をされた者。
②その他、特に献血事業に功労のあった者

交通指導員

永年にわたり、交通指導員として積極的に街頭指導を推し進め、交通安全思想の高揚と交通事故の防止に努められた。

遊佐 明(中川原)
(故)須田 富子(田町)

①交通指導員として十年以上勤続し、その職務に専念し他の模範となるもの②その他、特に交通指導員として功労のあった者

花だんコンクール入賞団体

官公署の部
優秀賞
五城目町立養護老人ホーム森山荘
五城目幼稚園
優良賞
内川小学校
努力賞
五城目第一中学校
五城目小学校
奨励賞
富津内小学校

一般の部

優秀賞 町村 老人クラブ
石崎 光風 会
優良賞 館越 子ども会
下山内 老人クラブ

努力賞 黒土 子ども育成会
富田 老人クラブ
上山内 老人クラブ
富津内 落合部落会
雀館 老人クラブ
古川町 老人クラブ
四ツ屋 老人クラブ
石崎 婦人会
下樋口 五光 会

奨励賞

谷地中 老人クラブ
大川 老人クラブ
矢場崎 子供育成会
湯ノ又 みづばち子供会
一番町 友の会

国県などから表彰を受けられた
昭和五十一年十一月三日
昭和五十二年十一月二日

自治関係

・従五位 勳五等瑞宝章
内閣総理大臣表彰
(昭和52年4月29日)
(故)小玉康一朗(高田)

・永年勤続功労
秋田県知事表彰
(昭和52年9月13日)

統計調査員
秋田県知事表彰
(昭和52年9月13日)

統計調査員
石井 次郎(富田)

・納税功労
秋田県知事表彰
(昭和52年10月19日)

・優 良 賞

・石井 孫一(富田)

・永年勤続功労

・全国連合戸籍事務協議会長表彰

・戸籍事務吏員(住民係長)

・八柳 一巳(大川)

・福祉関係

・永年勤続功労

・厚生大臣表彰

・民生児童委員

・遊佐 武(中川原)

・優 良 賞

・秋田県知事表彰

・(昭和52年3月25日)

・恋地子ども会代表

・佐々木すみえ(恋地)

・銀色有功賞

・日本赤十字社表彰

・(昭和52年7月18日)

・(献血30回以上)

・泉谷 治美(雀 籠)

・交通栄誉章(緑十字銅章)

・全日本交通安全協会表彰

・(昭和52年9月21日)

・五城目町交通指導員

・伊藤 金三(田 町)

・永年勤続功労

・秋田県知事表彰

・(昭和52年9月1日)

・民生児童委員

・八木下照全(築地町)

・全国社会福祉協議会長表彰

・(昭和52年10月19日)

・施設技術吏員

・(老人ホーム看護婦)

・小松シツエ(畑 町)

・優 良 賞

・秋田県知事賞

・(昭和52年10月26日)

・築地町年金納付組合

・代表 荒川要五郎(築地町)

・消防関係

・有功章秋田県知事表彰

・(昭和52年1月1日)

・第一分団長分団長

・伊藤 弘(御蔵町)

・有 功 章

・秋田県知事表彰

・(昭和52年1月1日)

・第十分団分団長

・松橋 巽(浅見内)

・永年勤続功労章

・消防庁長官表彰

・(昭和52年3月4日)

・消防副団長

・畑沢 一祝(湯ノ又)

社会体育振興に功労

宮川さん県教委から表彰

県教育委員会では、十一月一日

秋田市千秋会館において、教育功

労者表彰式を行うが、この席上、

社会体育部門で唯一人表彰の栄に



宮川 庄太郎氏

浴する人がいる。それは、馬場目字

宿禰寺の宮川庄太郎(65)さんで

ある。

この表彰は、学校、幼児、特殊

社会教育などの部門で、長年にわ

たちも表彰するものである。

宮川さんは、昭和三十二年に町

の体育指導委員になって以来この

道二十年、体育協会の育成強化や

町民総参加体力づくりを提唱する

など、意欲的に体育の町づくり

に取り組んできた。この間、町体育

指導委員長、町バレーボール協会

長、県体指運副会長、郡体指運会

長を歴任している。

所得税第二期分の納税は

十一月三十日まで

十一月は、所得税第二期分の納

税の月です。所得税は、第一期分

から第三期分に分けて納税するこ

とになっています。このうちの第

一期分と第二期分を予定納税とい

い、それぞれ前年の所得を基にし

て計算した税額の三分の一ずつを

納めていただくわけです。

第二期分の納税額は、既に税務

署から通知してありますから、そ

の金額を十一月三十日までに納め

ていただくこととなります。

しかし、十月三十一日現在の状

況によって、今年の所得を見積っ

て計算した税額が、次のような事

情のために、税務署から通知され

た税額より少なくなると見込まれ

るときは、予定納税額の減額承認

の申請をすることが出来ます。

▽景気の変動や営業不振、廃業、

休業、失業などで前年より所得

が減ると見込まれるとき。

▽結婚、出生などのため、配偶者

税務署へ提出することになってい

ますが、詳しくは最寄りの税務署

へおたずねください。

また、納税には振替納税制度を

利用されますと大変便利です。

「税を知る週間」

国は、わたしたち国民の幸福と

繁栄のために幅広い活動を行って

います。税金は、このような活動

の大切な財源であり、わたしたち

の日常生活においても、いろいろ

な面でかかわりあっています。

このように国民生活に深い関心

がりを税金の仕組みや使いみ

ちなどを、国民のみならず正し

く理解していただくために、国税

庁、国税局、税務署では、十一

月一日から十七日までを「税を知

る週間」として、①納税者に有利

な税知識の普及、②税務相談など

税についてのいろいろな行事を全

国一斉に行います。

また、税理士会、法人会、間税

協力会、納税貯蓄組合、商工会議

所、商工会などの民間団体におい

ても「税を知る週間」の協賛行事

として、講演会、税法説明会など

が予定されています。

秋田北税務署ではこの週間行事

のとり、十一月十五日(火)

当町下町の長谷川宅において巡

回税務相談所を開設することにな

りました。税金のことならなん

でもけっこうです。この機会に

日ごろの疑問などをぜひ解決し

てください。料金は無料です。時

間は午前九時から午後二時まで

秋田中学を退学させられた謠治

は、上京して慶応普通部に編入し

て中学の課程をおえる。そして明

治四十年仙台の第二高等学校に合

格入学する。

彼がゲーテ研究を志したのは、

仙台時代であるらしいが、その動

機を物語るエピソードは伝わって

いない。身体が大きくなってがんじ

うな謠治は、体力にまかせて猛烈

な勉強をした。その生活は道徳的

で規律正しく、この当時の高校生

活に見られた野放図とは全く縁が

なかった。

明治四十二年東京帝国大学に入

学するが、その生活はますます学

問一途になっていく。当然、彼の

学業成績は優秀で、文学部独文科

の特待生であった。

大正二年七月、恩賜の銀時計を

授与されて卒業した謠治は、学者

としてかがやかしいスタートをき

った。九月に金沢四高のドイツ語

教師に迎えられた。

結婚は四高につとめてから間も

なくだった。「妻にするのだった

ら純朴な田舎の娘がい。東京の

娘を見てみると、自分の性分には

合わない」といつか言っていた。彼

は親のすすめた由利郡亀田の加藤

春代という娘を妻に迎える。

大正九年から十二年まで、謠治

は文部省の在外研究員としてドイ

ツに渡り、ベルリン大学で三年間

ゲーテ研究に没頭する。特に「フ

アウスト」の研究が、この後の彼

の研究生活に決定的意味をもった

85

木村 謹 治

小 野 一 二

③

の助教授として迎えられる。昭和

七年教授、八年には主任教授とな

った。その少し前には「若きゲー

テ研究」で文学博士となっている

が、彼のゲーテ研究は日本での最

高峰であり、世界的な権威とされ

るようになっていった。

また、わが国のドイツ文学者で

彼の教えをうけなかった者はない

といわれる程である。

彼がドイツ留学から帰った頃、

日本にはまだ満足な和独辞典がな

かった。そこで東京に移ってから

その編纂の仕事にとりかかった

十年余り苦心のすえ昭和十二年春

和独大辞典が刊行されたが、今日

なおこれ以上のものはないとされ

ている。

また「木村、相良独和辞典」は

十五年の刊行であるが、これも今

日最も権威ある辞書とされている

そして、ドイツ文学研究の著作

や論文を次々に発表していった。

戦争がはげしくなると、文科の

学生は戦場ばかり出され、大学は

火の消えたようになつたが、それ

でも謠治は決まった時間に研究室

に入り、夜おそくまで研究をつづ

けていた。戦後の社会は、はげし

い価値の転倒を経験し、人々の運

命も激動するが、謠治の学究生活

3

使う火を消すまで離すな目と心

秋の火災予防運動

秋の火災予防運動

十三日～十九日まで

秋の火災予防運動が、十一月十三日から十九日まで行われる。

この運動は、これから寒くなる

と、各家庭では石油ストーブ、こ

たつなどの暖房器具を使用する機

会が多くなり、それが原因の火災

が急増してくるので、その発生防

止と人命損傷事故の絶滅を期して

行うものである。

たて続けに二件の火災

この町では十月十四日の七倉十

月十八日の杉沢と、製材工場、住

家、非住家十棟を焼失するやつぎ

ばやの火災が発生している。

杉沢の場合は、モミ乾燥機が原

因で、消防署への連絡が地域集団

電話のためスムーズにいかず、消

防自動車四台、小型九台の出動数

にもかかわらず、類焼を多くする

要因となった。

モミ乾燥機は使用前の点検を十

分しての事故で、各農家でも

この点をよく心得る必要があるよ

うだ。

ストーブによる火災が多い

昭和五十年の暖房器具による火

災では、ストーブによるものが最

も多く、全国で二千四百九十七件

ついでこたつによるもの七百六十

一件などとなっている。

暖房器具には、その器具に応じ

た正しい使い方がるので、取扱

い使用書や注意書を

よく読むことが火災

防止の第一歩である



よく朝まだくすぶる火災現場(杉沢)

五、自分が使う火は消すまで責任をもち、その都度安全を確認する。

六、一日一回は防火について反省する。

以上実施するよう消防署では呼びかけている。

雀館運動公園利用者

9月末で20万人を越す

昭和五十年十一月に「町民センター」「広域体育館」が完成し雀館運動公園と

言う名称で発足して

から二年になりまし

たがこの間運動公園

を訪れた方が、九月

末をもって実に二十

万人を越し、五城目

町人口の約十二倍弱

となりました。

このうち

男子 一一四、五五一人

女子 九一、三九五

計 二〇五、九四六

五城目町の石仏

小川 元生

角柱石に深肉彫の延明地藏であ

る。死者の供養のために建立され

た墓石像であって、信仰像ではな

い。彫りは新らしいが、機械彫り

以前の彫りものである。

機械彫りはきれいに仕上がるが、

ノミあとの見える手彫り作品と比

較してみると、どうしても胸にせ

まる迫力に欠けている。

この地蔵の頭上には天蓋が造ら

れている。風雨雪に幾星霜を晒ら

す今後の未来を偲ぶとき、材質が

石とはい、そのきびしい情況下

にせめて顔部なりとも、製作され

たものかも知れない。そこに石仏

などとなっております。

またこのうち町外からの視察者

報は今年度になって七五四人とな

り雀館運動公園発足以来

男一、五七四人 女九〇七人

計 二、四八一人となります。

相談所開設について

産業文化祭の協賛事業として次の日程により人権擁護相談、行政相談、交通事故相談所を開設することに

なりましたのでお気軽においで

ください。この日は人権擁護委員、行政相談委員や県の交

通事故相談員の方々が相談に

応じます。どんな小さな

ことでも気軽に相談くだ

さい。無料でお話しになってお

世話し相談事項は秘密を守ります

日時 十一月四日

午前十時～午後三時

場所 町民センター

三階 婦人研修室

五城目西地集電話が

一般電話に切替え

かねて要望されていた西地集電

話(五城目局八千番台の電話)の

一般電話切替工事順調にすすみ

左記の日程で切り替えられるこ

になりました。

なお、この地集は地域別に切り

替えることになりましたので、切

り替え時間の前後二十分程度は緊

急のご用以外の通話をご遠慮願

います。

また新電話番号表は五城目電話



(西野地区) 大きさ 55×22.5×20

に対する心温まる心情が汲みとれ

て、この石仏と対していると快

い感情が与えられてくる。

そのせいか、この地蔵像の表情

も、愛情に包まれるかのように平

静で柔和で安住の感をたたえている

だ。接したことがない。

この種の天蓋づくりの石仏は全

体的にも数がきわめて少いよう

である。したがってこの町ではこ

の一基を目にしただけで、外には

だ接したことがない。

この種の天蓋づくりの石仏は全

体的にも数がきわめて少いよう

である。したがってこの町ではこ

の一基を目にしただけで、外には

だ接したことがない。

この種の天蓋づくりの石仏は全

体的にも数がきわめて少いよう

である。したがってこの町ではこ

の一基を目にしただけで、外には

第十三回 五城目上小阿仁間駅伝

土崎陸友会二連勝

駅伝日よりにふさわしい好天にめぐまれた第十三回五城目、上小阿仁間駅伝大会は、参加三十チームを揃えて十月三十日午前十一時、五城目体育館前をいっせいにスタートした。

レースは予想通り、土崎陸友会を中心に秋田自衛隊、鹿角陸協、平鹿オレンジなどの間でトップが争われ、結局、全県の駅伝界でもベストワンにのる好選手を揃えた土崎陸友会が優勝した。

本町の走友会も二区で伊藤道春選手が五人のごぼう抜きで区間トップを取り八位に食い込んだ。

優勝した土崎陸友会は一区から橋本選手の区間トップをステッパに、追いつがる自衛隊秋田を振り切った。

二位自衛隊秋田は、三区、四区で区間トップを取りながら惜しくも敗れた。

また、本町から出場した二チームは、健闘したが、全県レベルまではかなりの練習量が必要である。来年の大会での活躍を期待したい。

以下成績はつぎのとおりである

1 土崎陸友会	1 時37分55秒
2 秋田自衛隊	1 時38分12秒
3 鹿角陸協	1 時42分23秒
4 平鹿オレンジ	1 時43分03秒
5 男鹿市陸協	1 時43分05秒
6 秋田鉄道管理局	1 時43分14秒
7 若美町駅伝クラブ	1 時44分13秒
8 五城目陸友会	1 時44分16秒
9 森吉陸協	1 時45分29秒
10 秋田大学	1 時46分15秒

11 鷹巣陸協	1 時46分46秒
12 大館陸友会	1 時48分41秒
13 横手オレンジ	1 時50分09秒
14 秋大クラブ	1 時51分02秒
15 昭和町陸友会	1 時51分12秒
16 雄和陸友会	1 時51分15秒
17 合川高校	1 時53分09秒

18 郷土走友会	1 時53分27秒
19 上小阿仁体協	1 時53分57秒
20 手形愛走会	1 時54分09秒
21 河辺陸上クラブ	1 時54分13秒
22 十文字走友会	1 時54分14秒
23 亀の子クラブ	1 時54分17秒
24 手形クラブ	1 時55分08秒
25 秋田走友会	1 時55分14秒
26 五城目水走会	1 時55分17秒
27 五城目農協	1 時55分27秒
28 二ツ井陸協	1 時55分34秒
29 男鹿A.C.	1 時55分45秒
30 合川体協	1 時55分48秒

築地町集会所完成

喜びにわいた竣工式

十月十六日午後一時三十分から築地町児童館に付設した集会所の竣工式が行われ、七十名の町内会員等が集まって盛大に開かれた。

はじめに築地町町内の発展を願う、仏式による祈とうが行われた。

築地会館と命名

つぎに佐藤町内会長が「この集会所は町内みんなの力を併せて建設したものであり、大切に使用して行きたい。」

十一月四日

球根保存講習会

五城目幼稚園で

公民館では、花いっぱい運動のコンクールが先頃終了したので、このコンクールに参加したグループ員を対象に、秋植え球根をはじめ春植え球根の保存法などについて講習会を開くことになった。

町内の皆さんが朝夕、休日を利用して労力奉仕によってつりつた集会所となった心から喜びあいたい。この集会所を築地町会館と呼びたい」と、あいさつ、参加者一同から大きな拍手を浴びた。そして佐藤町内会長に感謝状が贈られた。

労力奉仕で完成

また、同町内選出の荒川要悦町議は、「この会館を建てるに際し町内の各職業の人たちが多くに技術を出しあい、仕事の合間をぬっては労力奉仕に参加し、見事に完成した。」

これからもいっそう団結を強め町内はもとより町の発展のためにがんばってほしい。」と、結び、皆んなで竣工を祝った。

町内会員のいこいの場

この築地会館は、旧大川小学校の校舎を一部譲り受けて、工費二十五万円を投じた。建物の延べ面積は八十一、六八坪で、中には老人居室や読書室、集会所などがある。つりつたもので町内会員の喜びもひとしおである。「やっとなんかの夢が実現した。」



率浦大学院生 映画と調理実習で楽しい一日

10月20日、率浦大学院では町民センターで10月の学習会を行った。午前10時から男子は映画学習、女子は調理実習。正午にはその料理をかこんで話し合い学習という趣向で、初めての試みであったが参加者からは大変な好評を受けた。この日の調理実習の献立は、いものこ汁、もやしのゴマ和え、とり肉の磯辺揚げなどであったが、調理室に勢揃いした学級生は、この道何十年を誇る腕達者ばかり、担当者の坂谷主事も「みなさんはすでに十分ご存じのことと思うが」、この就こばを必ずつけ加えてからの指導であった。高令者とは言え、住年の若妻だけに包丁さばきはさすがである。調理台が高いかなと思われるだけに、曲りかげんな腰を伸ばし、両手で支えにしたりして、2時間立ちどろし、それでも音を上げず、自分たちの作った料理を男子の待つ和室に運ぶ姿は、そこはかとなく足どりも軽く、背すじも伸びていた。楽しく学んだ一日であった。

ねんきん通信

「年金相談室」を開きます

～ 気がるにご利用を ～

十一月は「国民年金普及推進月間」です。昭和三十六年から国民年金制度も今ではすっかり私たちの暮らしに密着したものにな

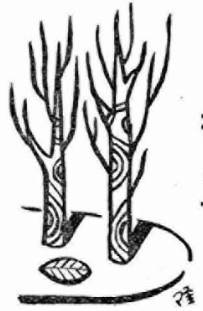
ご気軽にご利用ください。なお、この相談には秋田社会保険事務所の専門官があたります。

会員や子どもたちにとって一番の贈りものである。」(加賀谷優さん)と述べていた。また新しくミニコミュニティの場ができた。

りました。五城目町で国民年金に加入している人は四、七〇〇人、年金を受けている人は二、二〇〇人です。年金の受給額も四億五千万円に達しております。

しかし、年金について正しい理解をしていないために、年金を受ける権利がない方や、権利があっても、それを生かしていない方もあります。

町では十一月一日からはじまる「第二回産業文化祭」にちなんで「年金相談室」を十一月四日(金)五日(土)の二日間五城目町農協会館で開設します。



おしらせ

第三回 町ぐるみごみ大掃討作戦 河川、下水のいつせい清掃

十一月十二、十三日の二日間にわたり、第三回町ぐるみごみ大掃討作戦が行われる。重点目標などはつぎのとおりである。

▽期日

十一月十二日 企業、官公署
十一月十三日 町内、部落

▽時間

実施の時間運用については、町内、部落、団体に一任する。

▽実施方法

◎住民の場合

・下水の泥上げと処理・町内、部落の護岸、橋の附近の清掃

・町内、部落のあそび場(神社、寺院、空地等)の清掃

◎企業、官公署、団体の場合

・工場の敷地内外の清掃及び附近の下水、側溝等の清掃
・私有地、借用地等で別の場所に廃棄物を捨てている場合は、その場所をもとより附近の清掃につとめ、以後の管理を完全にする。

・公共施設(神社、寺院、空地等)の清掃
・機会あるごとに住民、企業への環境美化啓蒙につとめてほしい

△方 法

(イ)可燃物は焼却し、不燃物は適当な場所を選定し、穴を掘るなどして処理すること。

(ロ)捨て場のない本町部についての汚物あげは、乾燥の状況を見て二、三日後に町で収集する。

その際、汚物は車の入れるところにまとめておき、積み込む際町内のご協力をお願いしたい。なお、大掃討作戦後の汚物あげ

については収集しないのでよろしくご協力願います。

◎その他

・雨天順延
・当日、民生部保健衛生課職員により、各地区を巡回する予定。
・環境美化実践への要望、ご意見は役場(電話二一〇〇)民生部保健衛生課へ

【目 標】

・建物及びその敷地内外の清掃。(窓ガラスの掃除等も)
・ねずみの巣、通路などの除去及び不衛生害虫の除去。
・下水、みぞ、汚水だめ及び便所などは掃除のうえ消毒し、清潔をはかる。
・畜舎及び鶏舎の掃除
・ゴミ処理の終末現場を確認し、環境汚染を防止する。
・農村部の不燃物は、穴を掘って埋めるか必ず標箋を付して集積所に置くこと。

◎秋期大掃除(掃除検査)の日程

期日 十一月
八日(火) 馬場目地区
九日(水) 富津内、内川地区
十日(木) 大川、面湯、馬川地区
十一日(金) 五城目、馬川地区
十四日(月) 五城目地区
十五日(火) 五城目地区

秋田県税事務所からお知らせ

個人事業税一期の納期限は十一月三十日です。
納税通知書が届きましたら十一月三十日までに最寄の銀行、信用金庫、郵便局、農協又は秋田県税事務所へ納付してください。
※県税についての問い合わせは次にご連絡ください。
課税課 電話(〇六)二二二二
納税課 電話(〇六)二二二二

味のしおり

・サンマが出るとアンマが引込む
・栄養豊富な秋一番の味覚、サンマが出ると元氣モリモリ。アンマが必要なくなるという。
・はまぐりは水から
・あさり湯から
・材料の持ち味を上手にいかす貝汁の調理の順序。はまぐりは、いきなり湯に入れると口があかない
・みそ汁のみそは火から下ろす直前に
・みそ汁を煮立てては、せっかくの香りが飛んでしまう。このタイミングがみそ汁のうまいまじいポイントになる。

お米は誤解されている
ごはんをたべると「ふとる」「高血圧になる」「頭が悪くなる」とよくいわれるが、ほんとうにそうだろうか。必要以上にカロリーをとれば、何をたべてもふとるのは当然であり、運動不足も原因のひとつになる。
また、お米の中には、血圧を高くするような成分は何も含まれていない。血圧が高くなるとすれば塩辛いおかずのとり過ぎである。同様に、脳の働きを妨げるものも含まれていない。居眠りや物忘れの大半は、過労、寝不足によるもので、原因は、ビタミン、ミネラルの不足である。どうやら「お米犯人説」は誤りのようである。大切なカロリー源であるお米を見直したいものである。



・ぬかみそは日に三回底から混ぜる
・ぬか漬の味と香りのもと「乳酸菌」の働きをよくするため酸素を十分に補給してやる。
・さし油する料理下手
・使い古しの油に、新しい油をつぎたしするのはまったく無意味。新しい油もたちまち酸化して台なし。天ぷら揚げは四回が限度。

ガードレールを清掃

・杉沢小のこどもたち

このほど杉沢小学校で、公共施設を大切にしようとして杉沢、窓地間の道路のガードレール一kmにわたって、清掃作業を行った。
集まった生徒二十三人、その父兄十七人合せて四十人が手に手にバケツとぞうきんを持ち額に汗しての大奮闘であった。

午後一時から父兄の前に「奉仕活動の重要性について」校長先生から講話があり、清掃に入った。この奉仕活動は、郷土のよき伝統を引きつぎ、公共施設や芸能、文化遺産などを親から子に子から孫に伝え、広く郷土愛を育てようとして行っているものである。
同校のこどもたちは大へん純朴である。自然の大きな姿と同じく人間味がある。都市化に浸されない貴重な存在で、いつまでもこの心を大切にしたい。

善意銀行預託者

東北電力より 防犯螢光灯四基町に寄贈

東北電力五城目営業所では、このたび町内の公共施設(老人ホーム、幼稚園)の内線布設点検を無料で行い関係者から感謝されている。
また次の場所には防犯水銀灯を四カ所に布設し町に寄贈している。

これらは同会社が、利用者に対するサービスの一環として行ったもので公共施設のろう電防止と犯罪のない明るい町づくりに一役買おうというものである。

・田町 町山線、秋銀職員住宅前
・上樋口 上雀線、島井市邸住宅前
・浦横町 浦横町線、小玉礼治宅前
・高千 高千線、高田、千日の中間

・九月十二日 千円 大川二区 小瀬 清一
・九月十二日 三万円 雀館 武端 弘
・十月二十二日 三万円 秋田市 館岡 勲
・十月二十二日 株式会社 光 進
・十月十一日 一万円 富津内 伊藤鉄三郎
(亡)と次男薫殿の香典返しとして)